

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月14日

株式会社ハルメクホールディングス
(証券コード：7119)

ハルメクグループは、
50代からの女性がよりよく生きることを応援します。

これからのために、生きてきた

ハルメク

h a l m e k

1. 2025年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想
3. 今後の取り組み

1. 2025年3月期 第1四半期 決算概要

業績ハイライト（連結損益計算書）

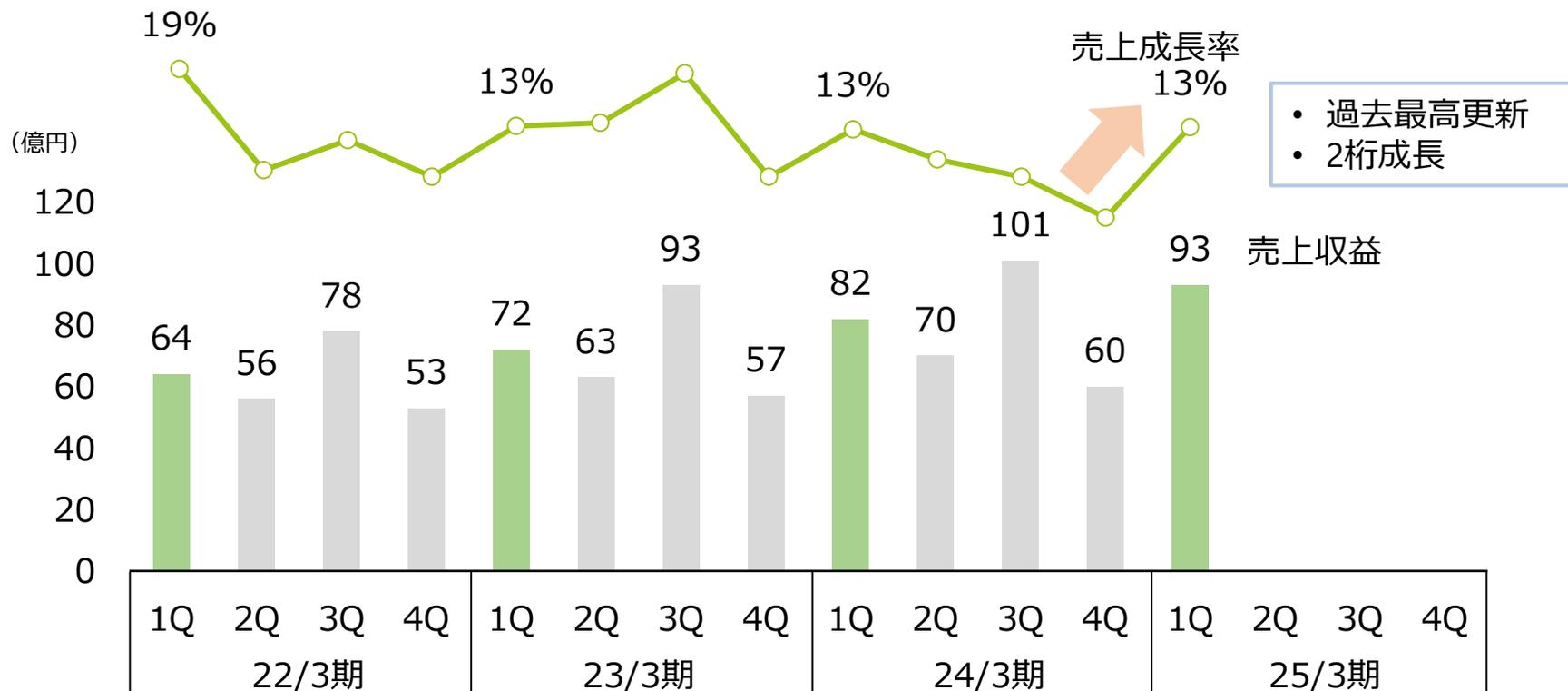
- 売上は増収を継続、第1四半期における過去最高を更新
- 営業利益は、前年下期から悪化している広告効率が改善途上で減益
- 税引前利益及び四半期利益は、前年度に発生した一時的な借入金返済コスト（1.3億円）がなくなり増益

(IFRS基準)	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	8,236	9,320	+ 1,083	+ 13.2%
営業利益	663	604	△58	△8.9%
税引前利益	519	593	+ 74	+ 14.3%
四半期利益	344	409	+ 65	+ 18.9%

単位：百万円

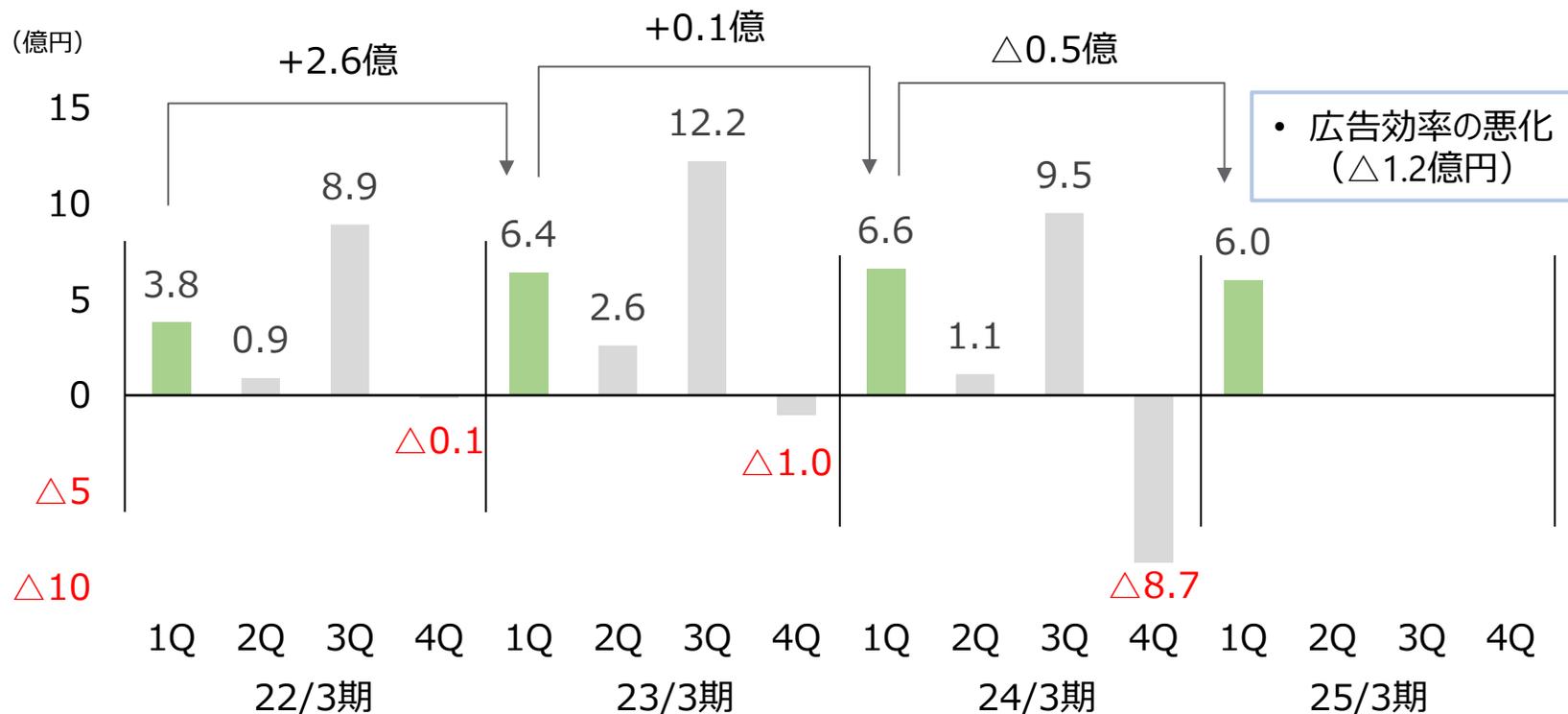
四半期別業績推移（売上収益）

- 物販売上好調や、雑誌「ハルメク」の購読料値上げ（2024年1月）により二桁成長

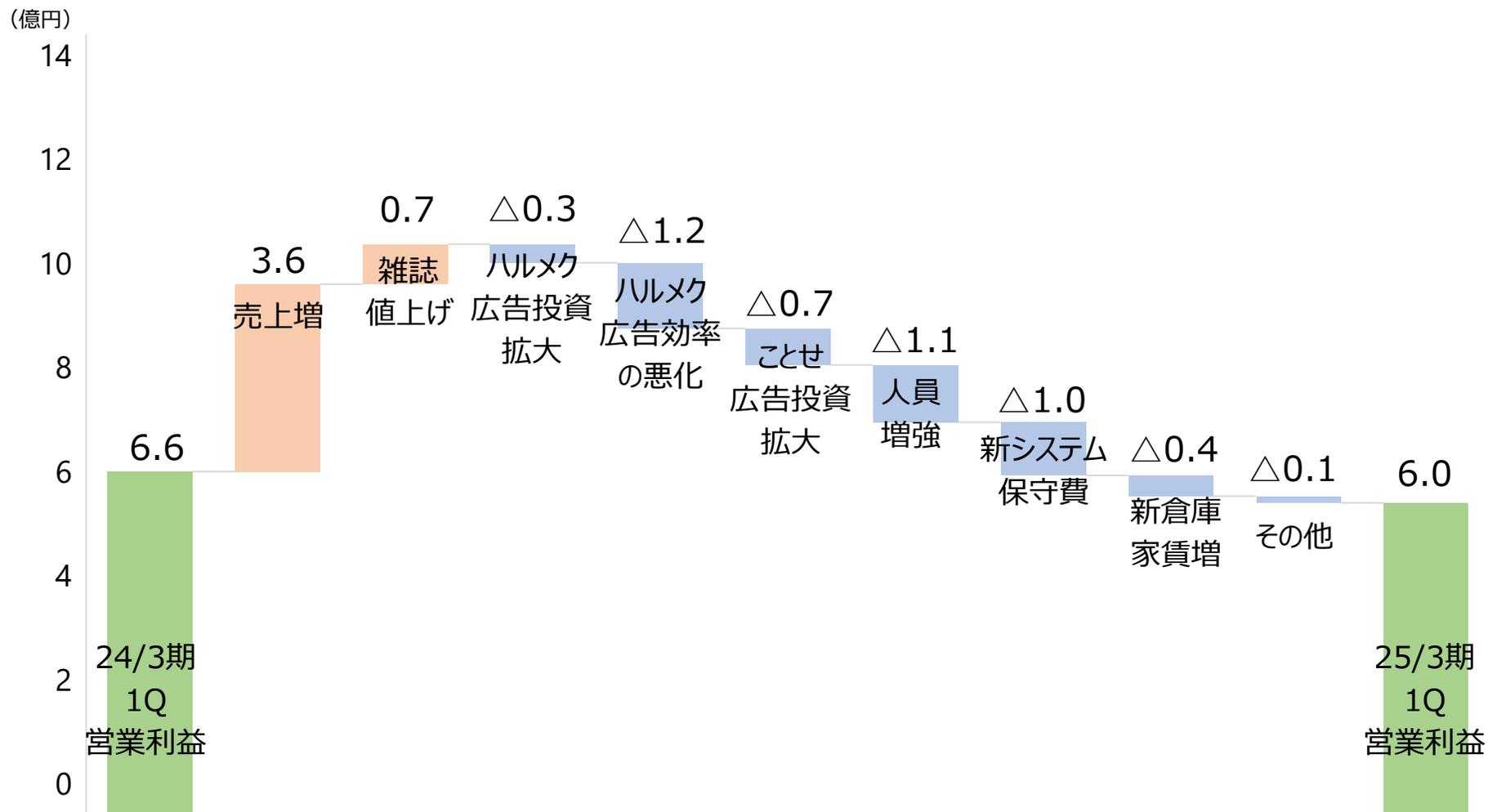


四半期別業績推移（営業利益）

- 当社の業績は季節性があり、第1、第3四半期偏重
- 第1四半期は前年同期比減益
- 広告効率は前年3Q以降悪化しており、改善に取り組んでいるものの前年1Q並には戻らなかった



2025年3月期 第1四半期 営業利益の分析



事業別業績

- 基盤事業は、ハルメク物販及びことせ物販が顧客数を順調に拡大したことで増収も、広告効率の悪化（前述）やことせ物販が新規顧客獲得を優先したことによりEBITDAは減少
- 法人事業は売上・利益共に順調に伸び、先行投資事業は「花と緑の研究所」を買収したことを主因に増収

(日本基準)		2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
グループ連結	売上	8,366	9,303	+937	+11.2%
	EBITDA	846	738	△107	△12.7%
	(マージン)	10.1%	7.9%	—	—
基盤事業	売上	8,125	8,919	+794	+9.8%
	EBITDA	831	750	△80	△9.7%
	(マージン)	10.2%	8.4%	—	—
法人事業	売上	288	318	+29	+10.3%
	EBITDA	13	28	+15	+111.5%
	(マージン)	4.7%	9.0%	—	—
先行投資事業	売上	34	143	+109	+315.8%
	EBITDA	△94	△109	△15	—
調整額	売上	△82	△78	+4	—
	EBITDA	95	68	△27	—

*1 本ページで記載する業績は全て日本基準のため、4ページの業績ハイライトと一致しない箇所あり。EBITDA：営業利益＋償却費、EBITDA率（マージン）：EBITDA÷売上高

*2 基盤事業：「情報コンテンツ（ハルメク誌）」「ハルメク物販（カタログ通販＋現EC＋店舗＋新聞外販）」「ことせ物販」
法人事業：ハルメク・エイジマーケティングが担当しているシニア企業向けにマーケティング戦略立案から実行・改善までをトータルで支援するB2B事業
先行投資事業：ハルメク365（講座・イベント含）、物販（新プロジェクト）、コミュニティ（押し花）、サービス（終活）、中国事業準備

単位：百万円

- 情報コンテンツは、読者数の増加と雑誌「ハルメク」の購読料値上げにより増収増益
- ハルメク物販は、9.1%増収も、広告効率が前年同四半期より悪化（前述）したため減益
- ことせ物販は、新規顧客獲得へ先行投資した結果、1Qは大きく減益も、通年では黒字確保の見込み

(日本基準)		2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
基盤事業	売上	8,125	8,919	+794	+9.8%
	EBITDA	831	750	△80	△9.7%
	(マージン)	10.2%	8.4%	—	—
	情報 コンテンツ	売上 EBITDA (マージン)	851 261 30.6%	917 299 32.6%	+66 +38 —
ハルメク 物販	売上	5,092	5,555	+463	+9.1%
	EBITDA	529	519	△10	△2.0%
	(マージン)	10.4%	9.3%	—	—
ことせ物販	売上	2,181	2,446	+264	+12.1%
	EBITDA	40	△67	△108	—
	(マージン)	1.9%	—	—	—

単位：百万円

*1 本ページで記載する業績は全て日本基準。EBITDA：営業利益+償却費、EBITDA率（マージン）：EBITDA÷売上高

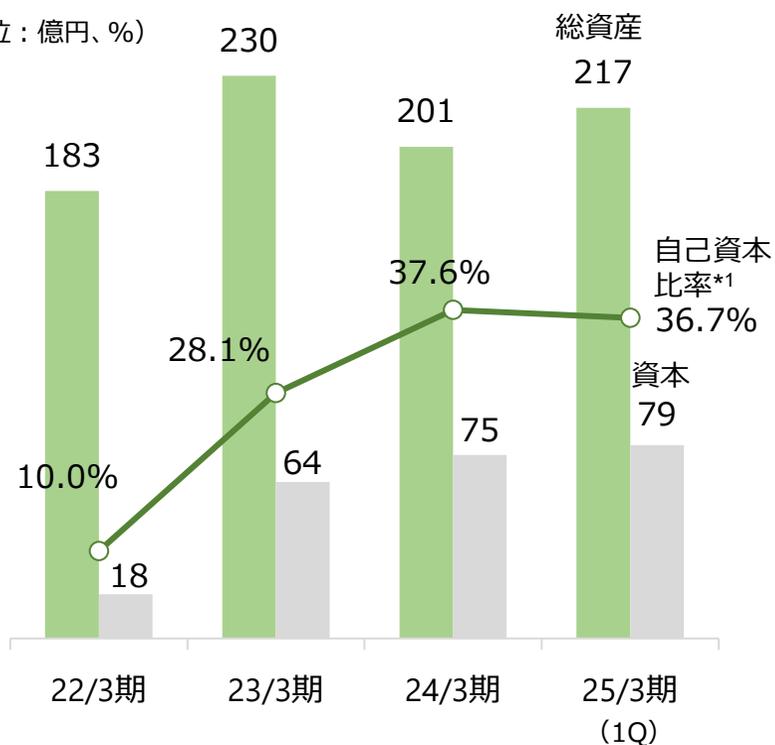
*2 基盤事業：「情報コンテンツ（ハルメク誌）」「ハルメク物販（カタログ通販+現EC+店舗+新聞外販）」「ことせ物販」

財政状態関連指標

- 6月は感謝市/感謝祭実施により営業債権が大きく増加。結果、総資産も増加
- 資本は増加したものの、総資産も増加した結果、自己資本比率はやや低下
- 総資産増加により、有利子負債依存度もやや低下

財政状態

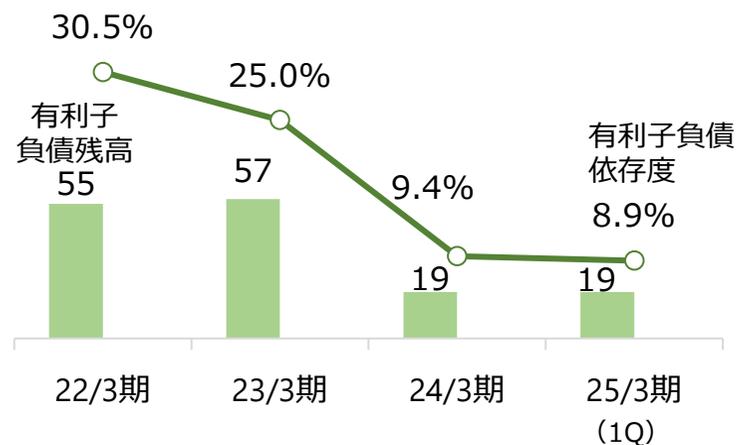
(単位：億円、%)



*1 親会社所有者帰属持分比率

有利子負債残高及び依存度*2

(単位：億円、%)

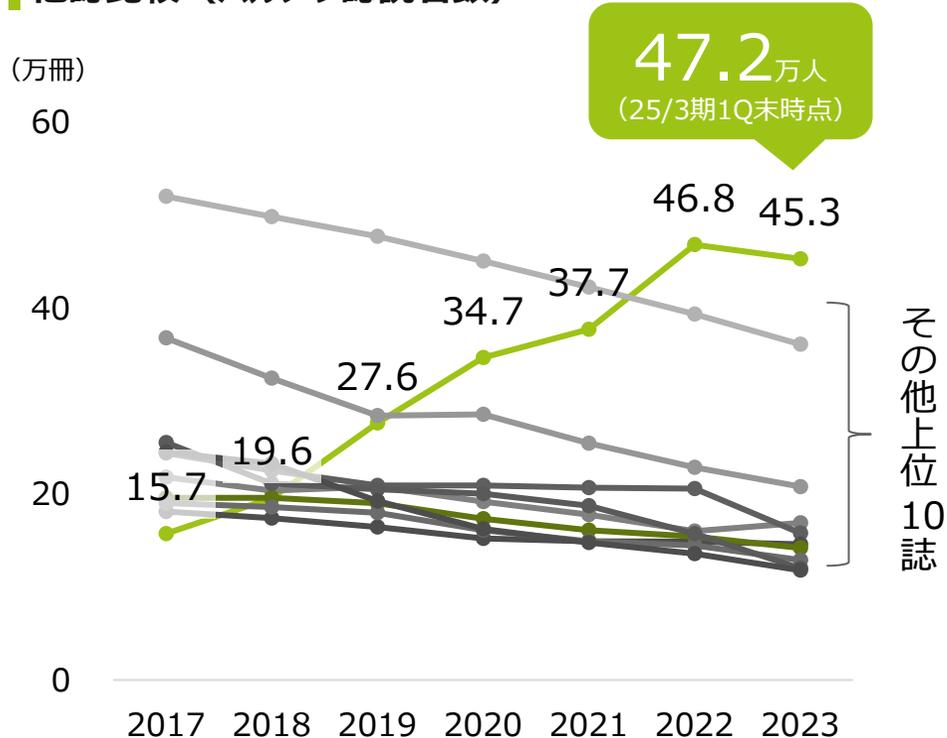


*2 有利子負債依存度 = 有利子負債(借入金) ÷ 総資産合計

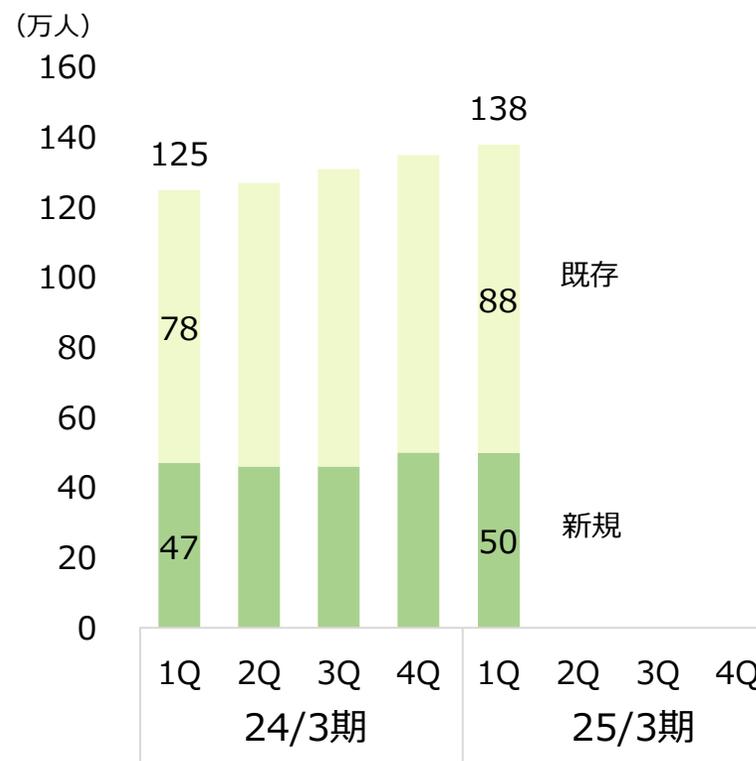
KPI推移（ハルメク誌読者数及びアクティブ顧客数）

- ハルメク誌の販売部数は国内全雑誌No.1*1を維持
- 新聞広告および新店舗展開による新規顧客獲得は順調に進捗し、アクティブ顧客数は安定的に増加

他誌比較（ハルメク誌読者数）*2



アクティブ*3顧客数



*1 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート（2023年上期・下期の販売部数）

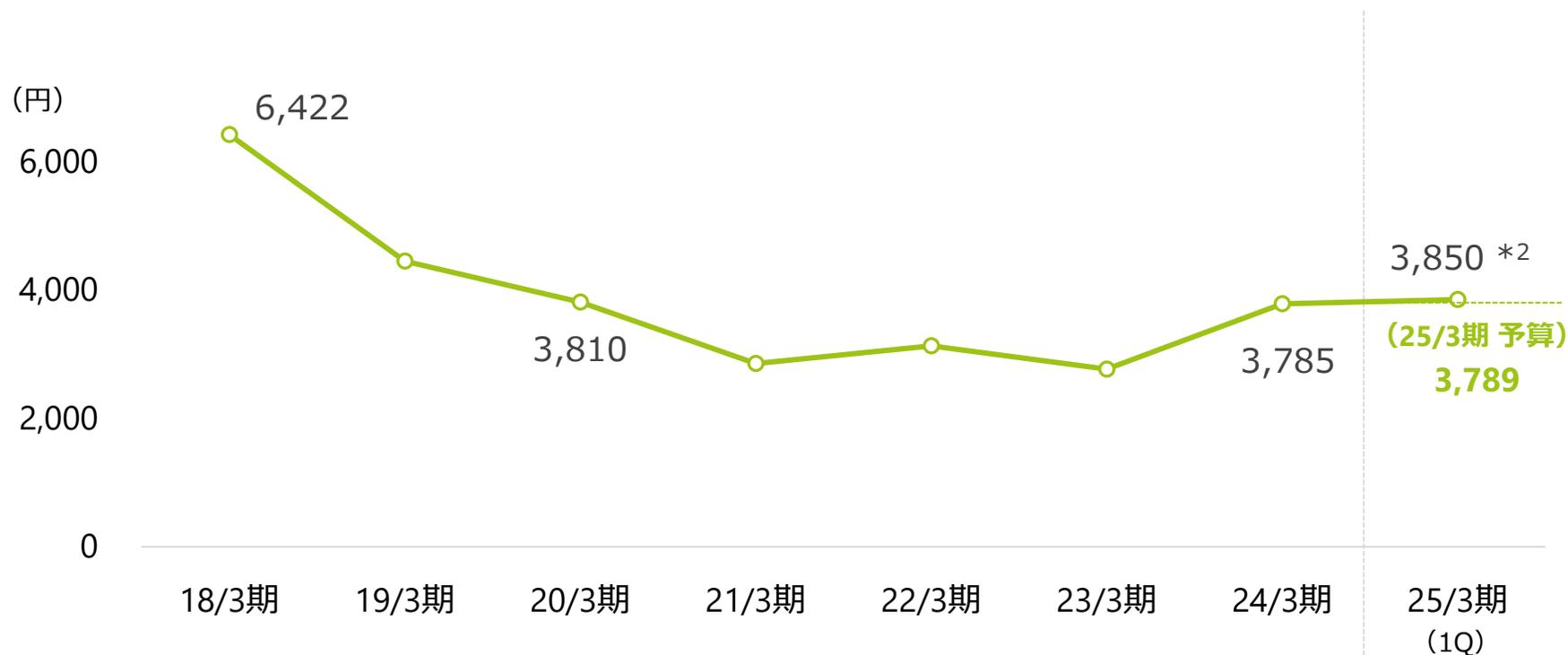
*2 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート（2018年～2023年。上期・下期の販売部数の単純平均）

*3 12ヶ月以内に当社サービスを利用した顧客数

KPI推移（情報コンテンツの広告効率：CPO）

- 第1四半期のCPOは、改善に取り組むもやや悪化
- TV広告等を活用したクロスマーケティングによる新たな新規顧客獲得手法の確立を目指し、取り組み中

ハルメク誌 CPO推移*1



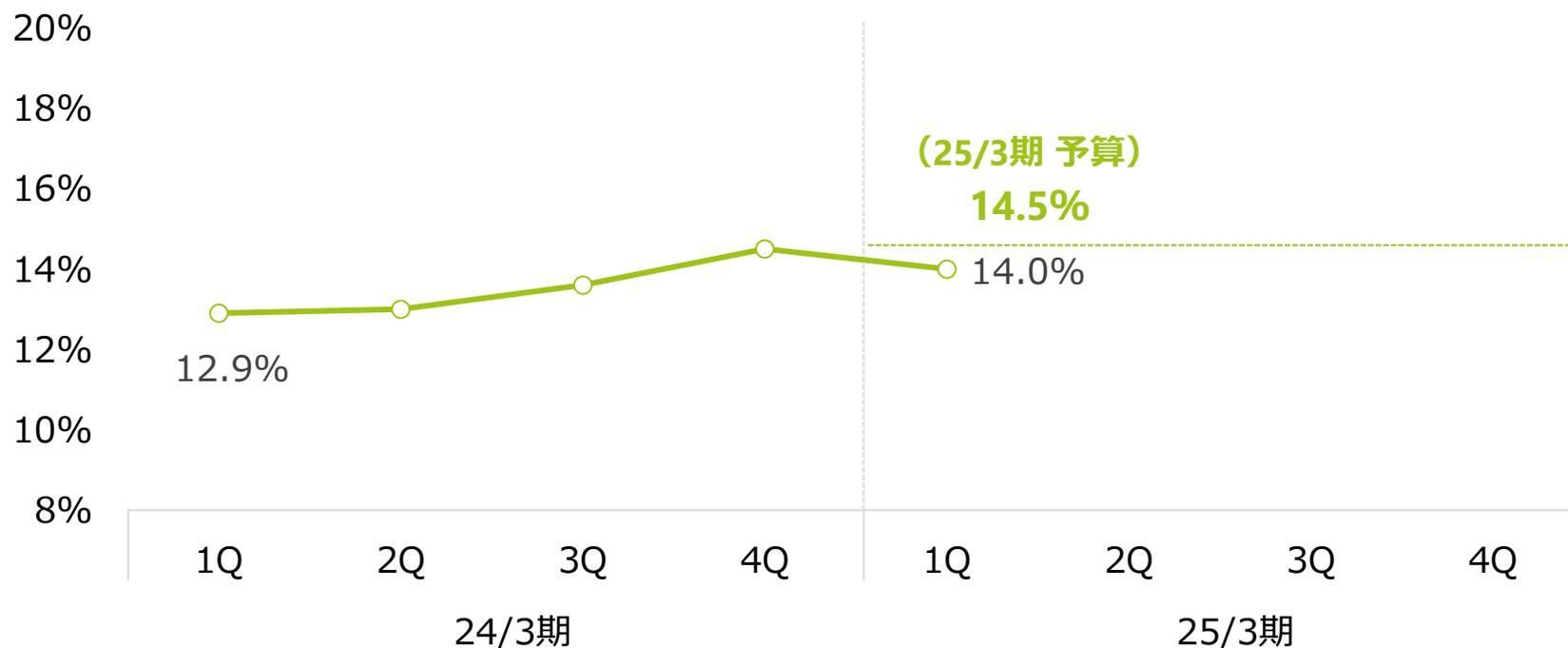
*1 CPO…ハルメク誌の新規顧客1人当たりの獲得広告単価

*2 年間（2023年7月～2024年6月）実績の加重平均

KPI推移（ハルメク物販の広告効率：媒体費率）

- カタログ配布手法等の見直しにより媒体費率は前年4Qより改善
- 2024年7月以降も更なる効率改善を目指す

ハルメク物販 媒体費率*



* 媒体費率…売上に対するカタログ費用の割合。季節性による変動を平準化して比較するため、該当期末から6か月間の実績を加重平均し算出

2. 2025年3月期 業績予想

連結業績予想

- 業績予想は変更なし

(IFRS基準)	2024/3期 実績	2025/3期 業績予想			
		上期	前年同期比	通期	前年同期比
売上収益	31,415	16,500	+8.2%	34,000	+8.2%
営業利益	857	400	△48.5%	1,000	+16.6%
税引前利益	681	375	△39.8%	950	+39.4%
当期利益	476	250	△39.5%	600	+26.0%

単位：百万円

3. 今期の取り組み

①3事業の連携を強化

- 機動的な戦略実行と相互連携の強化を図るため、組織体制の変更を実施予定

②顧客数を安定的に増やし、ファン化する

- アクティブ顧客数は前年同期比+10%と着実に成長
- 新聞広告による新規顧客の獲得の他、店舗による新規顧客の獲得も寄与

③2024年3月期の課題に取り組む

- TVを活用したクロスマーケティング手法の確立に向け、テスト中
- ハルメク物販は、広告効率の改善に向けて、カタログ配布手法の見直しを順次実施中
- ことせ物販は地方紙広告展開による新規顧客獲得を拡大中

④各事業のコンテンツ・商品・サービスを拡充する

- インナー商品を強化し、1Qは前年同期比+25%で成長
- ハルメクの靴は、1Qで前年同期比+17%と伸長

⑤デジタル×プレシニア新事業での取り組み

- ハルメク365は下期のサイトリニューアルに向けた50代向けコンテンツ開発、サイト構造改革に取り組み中

APPENDIX

連結財政状態計算書

単位：百万円

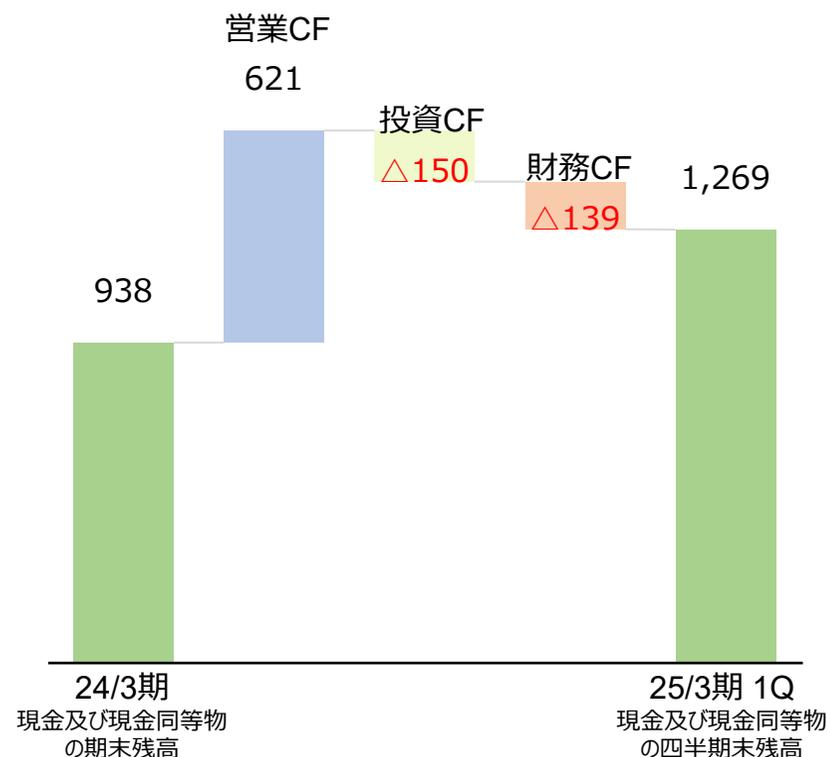
	2024/3期 実績	2025/3期 第1四半期実績	前期比
流動資産	6,229	8,020	+1,791
現金及び現金同等物	938	1,269	+330
営業債権	1,879	2,847	+967
棚卸資産	3,017	3,501	+483
非流動資産	13,885	13,688	△197
使用権資産	2,988	2,853	△134
のれん	4,452	4,457	+5
無形資産	5,641	5,550	△91
資産合計	20,114	21,708	+1,593
流動負債	8,784	10,044	+1,260
営業債務及びその他の債務	3,173	4,225	+1,051
契約負債	2,512	2,465	△46
非流動負債	3,774	3,697	△77
負債合計	12,559	13,742	+1,183
(有利子負債残高)	1,900	1,923	+23
資本合計	7,555	7,966	+410
負債及び資本合計	20,114	21,708	+1,593

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q
営業活動によるCF	388	621
税引前四半期利益	519	593
減価償却費及び償却費	210	269
投資活動によるCF	△148	△150
財務活動によるCF	△3,490	△139
短期借入れによる収入	1,900	—
長期借入金の返済による支出	△5,892	△0
株式の発行による収入	607	0
リース負債の返済による支出	△105	△140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,250	330
現金及び現金同等物の期首残高	5,036	938
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,785	1,269

連結キャッシュ・フロー



(ご参考) 事業別KPI

- 基盤事業であるアナログ×アクティブシニアビジネスの主なKPI

NO	指標分類	指標名	説明
1	全体共通	新規顧客数	当期中に当社との取引を始めた顧客の数
2		アクティブ顧客数	12ヶ月以内に当社サービスを利用した顧客数
3	ハルメク (ハルメク誌)	読者数 (期間平均)	一般社団法人日本ABC協会発行社レポートの上期 (1~6月)、 下期 (7~12月) の読者数の単純平均
4		新規読者数 (期間合計)	当期中に新規購読を始めた読者の数
5		CPO	ハルメク誌の新規顧客1人当たりの広告獲得単価
6	物販 (カタログ通販 + 現EC + 店舗 + 新聞外販)	媒体費率	通販売上に対するカタログ費用の割合

- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

これからのために、生きてきた



本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先
株式会社ハルメクホールディングス 広報室 (IR担当)

Email : ir@halmek.co.jp